

【第 11 回文化と地域デザイン講座 / 兼・文化と地域デザイン学会例会】

日本で初めて！「バリの町条例」を制定した島根県美郷町の現職町長が、「本のある工場」に！

人口 4000 人の山里が、インドネシア・バリ島と文化交流を行い、<むらおこし>を図る！

◆ 2024 年 6 月 18 日(火曜) 午後 6 時 30 分から (調味料・舞踊・音楽の体感も！)

文化と地域デザイン研究所代表 (島根県立大学非常勤講師) 松本茂章

【今回の開催趣旨】

松本茂章著『地域創生は文化の現場から始まる 全国 35 事例に学ぶ官民のパートナーシップ』(学芸出版社、2024 年 2 月) は、アマゾン売れ筋ランキング「地方分権」部門の 1 位になった話題の書籍。現在も同ランキング上位で健闘中。そこで出版記念の講座を開きます。

本書第 4 章「地域の文化から仕事をつくる」で取り上げた島根県美郷町のチャレンジぶりをご紹介。インドネシア・バリ島に伝わるガムラン音楽、バリ舞踊、そして石見特産の「山クジラ」(新鮮なイノシシ肉)。これらを活用して「新しい地域文化資源をつくってやろう」との気構えで臨んでいます。過疎の山里の<生き残り策>や、「文化×地域×デザイン」を考えるヒントを考える絶好の機会です。

参加者には、美郷町の山菜等で作ったバリ島の辛味調味料「サンバル」を試食していただきます。

【ゲスト】

◆嘉戸隆さん (島根県美郷町 町長)

◆田中紗江さん (バリ島暮らし 17 年を経て、美郷町に移住。特産品づくりに励む)

【内容】

島根県石見地方の美郷町は人口 4000 人余の静かな山里だ。一級河川・江の川が流れ、穏やかな山々の風景は、バリ島に似ている。町内に入るとガムラン音楽が聞こえてくる。バリ舞踊の練習が繰り広げられている。毎年 5 月～9 月には、町役場の職員の半数以上がインドネシアの衣服「バティック」やバリ島の絨織物「イカット」のシャツを着込む。なぜ、石見地方の山里とバリ文化がつながったのか？

話は 1982 年にさかのぼる。島根国体が開かれたとき、江の川流域の邑智 (おおち) 町でカヌー競技が開かれた。町立カヌー博物館の建設計画が持ち上がり、開館記念事業としてバリ島からカヌー職人を招いて実演を披露してもらった。これを契機に、同町とバリ島・マス村が友好提携を結んだ。高校の修学旅行先にバリ島を選ぶなど文化交流を重ねた。しかし大和町と合併して美郷町が誕生すると、バリ島との交流は下火に……。2018 年、大和証券の本社幹部から転身して町長に初当選した嘉戸隆町長が、バリ文化の浸透ぶりを再発見。「これを、わがまちの強みに」と考えた。2024 年 4 月に、全国で初めての「バリの町条例」を施行。町役場内に「バリの町室」を正式に設置して仕事を始めた。

相次いで町内に結成されたのが、ガムラン楽団とバリ舞踊団だ。合わせて「ミサト・サリ」と呼ぶ。

同時に、新鮮なイノシシ肉を加工して「おおち山クジラ」ブランドの特産品を売り出している。

【ゲストのプロフィール】

◆嘉戸隆さん (かど・たかし) ※美郷町は、第 18 回自治体国際文化表彰 (総務大臣賞) を受賞。

1964 年、旧邑智町生まれ。父親は中学の教頭だった。出雲高校から東京都立大学経済学部を卒業後、大和証券に入社、マーケティング戦略室長、営業企画部長、横浜支店長、などの要職を歴任した。米カリフォルニア大学バークレー校に留学して、マーケティングを学んだ。

◆田中紗江さん (たなか・さえ)

1980 年、大阪市都島区生まれ。17 年間バリ島で暮らした。夫とクッキー工場を経営。売れ行き 1 位の

商品開発に成功した。帰国後の住まいを探していて美郷町を気に入った。地元の山草などを活用し、バリ島の辛味調味料「サンバル」を開発。第1弾は「8分で売り切れた」。バリ舞踊団の団員でもある。

【日時と会場】

2024年6月18日（火曜）午後6時30分から午後8時30分まで。参加費無料。（終了後、交流会）
アカデミックスペース「本のある工場」にて（大阪市此花区西九条5-3-10）。

（JR大阪環状線・阪神なんば線 西九条駅下車。徒歩7-8分）（交流会での差し入れ大歓迎！）

（階段で2階の会場に上がります。エレベーターはありません）

【申し込み】

主催は「文化と地域デザイン研究所」定員20人。先着順にて受け付けます。申し込みフォームは同研究所のHPから、お入りください。⇒ <https://www.bunkachiiki.com/>

（※キャンセル待ちが予想されます。欠席の際は、必ず、事前にご連絡願います）

【本のある工場とは】

1969年（昭和44）に建てられた元印刷工場。築55年。亡き父から相続した松本が、大学教授を定年退職したことを機にリノベーションを行い、22年5月、アカデミックスペースに生まれ変わった。

◆本のある工場の外観／文化と地域デザイン講座の風景／美郷町のガムラン音楽とバリ舞踊の練習風景

